

芦別市立中学校統合準備委員会（第2回） 会議録

- 1 日 時 令和4年7月4日（月）午後6時00分～午後7時20分
- 2 場 所 芦別市役所 第1会議室
- 3 出席者 別紙「委員名簿」のとおり。
- 4 会議概要

(1) 開会（学務課長）

開会を宣言。本会議への水上委員、西村委員の欠席について報告。また、富士川委員については、ズームでの会議出席となることを報告。

(2) 会長あいさつ（河戸会長）

芦別市内も先週末からかなり暑くなってきました、学校におきましては、コロナの感染予防対策はもちろんのこと、熱中症にならないような予防もしながら一つでも多くの教育活動を充実し、達成していかなければならないと考えております。

中学校においては、先週末、中体連の北空知大会が通常実施いたしまして、今週末には、空知大会が開催される予定であります。また、教育活動においても修学旅行につきましては、啓成中学校は既に実施しておりますし、芦別中学校においても、コロナでちょっと延期にはしましたが、今月中には実施する予定となっております。

少しでも多くの教育活動を充実させていくことを念頭に、また、統合におきましても、特に児童生徒の交流を中心にして進めたいと思っております。本準備委員会におきましても、先日、学校部会やPTA・地域部会を第1回目実施しまして、いよいよ統合に向けて本格的に進んできたところであります。また、本日は、統合後の学校名をはじめ、かなり重要な案件を協議していただきます。委員の皆様には事前にご意見を伺っておりますので、この資料を基にしながら、本日活発な議論ができればと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

(3) 報告事項（以降、河戸会長が進行）

- 河戸会長 事務局から報告事項について報告してください。
- 学務課長 5月16日に第1回準備委員会を開催した以降、2つの部会を開催しておりますので、その結果をご報告いたします。本日お配りしている資料の中に、それぞれの部会員の名簿を添付しております。学校部会については、6月15日に名簿に記載の構成による部会員により第1回会議を開催し、部会長に芦別中学校の丹那教頭、副部会長に啓成

中学校の竹田教頭、事務局に芦別中学校の佐藤教諭を選出し、今後、具体的な協議を進めていくことを確認しました。

次に、PTA・地域部会につきましては、6月23日に別紙の部会員により第1回会議を開催し、部会長に啓成中学校の竹田教頭、副部会長に芦別中学校の丹那教頭を選出し、こちらも今後、具体的な協議を進めていくことを確認いたしました。報告は以上です。

- 河戸会長 ただいまの報告について、何か質問はございますか。
(各委員からの発言はなし。)

(4) 協議事項

① 学校名について

- 河戸会長 今日用意している資料をご覧くださいながら、進めてまいります。
- 学務課長 協議事項ごとに委員の皆さんから事前に提出していただきましたご意見を、原文のまま載せておりますので、ご覧いただければと思います。皆さんがどんな考えなのかを把握していただきながら、ご協議いただければと考えています。市及び市教委の考え方として記載している事項は、昨年10月の保護者説明会の際に、その段階において教育委員会で考えていた方向性ということで示している内容でございますので、その内容を今回も踏襲した中で、どのような方向に持って行くかということでご協議いただければと考えています。(2)、(3)、(4)についても同様の考え方で取りまとめているので、協議をお願いします。
- 河戸会長 事務局から補足説明がありましたが、いかがでしょうか。
- 柴泉委員 学校名については、この資料にも書いてあるんですけど、皆さん、芦別の中学校ということで、賛成している人が多いと思うんですけど。これでいいと思う。
- 河戸会長 ほかの皆さんも同様の意見ということでよいか。意見の中の(5)のように、芦別市に残る唯一の中学校として適当な校名と思われるというふうに書いてありますが、だいたい大方このような意見を持っておられるということでしょうか。一つ、公募してもいいかなとありますが、いかがでしょうか。
- 富士川委員 公募については、私も意見を書かせてもらったところ。芦別市内唯一の中学校ですので、芦別中学校という名称が適当ではないかと思

ます。ただ、今後の学校活動に少しでも目を向けていただくような何か施策を取るという意味で公募でもいいのではないかという意見を書かせてもらった。今回は中学校のみだが、今後、小中一貫校になるときとか、新しい中学校の新設といった場合に、どのくらい先になるのかわからないが、そういったことを視野に入れたときに、今回公募した方がいいのか、その先に公募した方がいいのか、ちょっとわからないですけども。この機会に、市民の皆さんに中学校が統合して、少しでも教育環境に目を向けていただきたいという思いを乗せた意見であった。皆さんの総意に従いたいが、会議の中で議論いただければと思う。

○ 河戸会長　　今意見をいただいた部分は、理由も含めてとても大事なことだと思うんですが、皆さんから、これに対してどうですか。

○ 嶋委員　　富士川さんのおっしゃることも一理あるなと思う。おそらく公募したとしたら、結果的には芦別中学校になるのかなとは思いますが。皆さんに対する意識的なものを考えたときには、そういったものも。学校名以外も、もしかすると公募すると混乱が起きるかもしれない。そういうリスクもあります。けれども、意識を向けるということでは、公募というのも一つの手段なのかなと思います。

○ 河戸会長　　ほかにご意見等がありますか。

あとでお話ししようかと思ったんですけど、統合に向けて意識を高める部分では、学校名とかもいいんですけども、目指す生徒像をガラッと変えてはどうかなと常々思っていた。今の他の学校もそうであるが、目指す生徒像というのはとっても長い。それで、生徒はもちろんのこと、保護者、地域に浸透しづらいという部分があって、もっと短い言葉で、ある程度たくさん出して、こういうものを目指していきましょうというのを公募にかけてやってもいいのかなと思っていた。実際にそうしている学校もあって、目指す生徒像を目指す10の生徒像ということで出している高校もある。例えば芦別中学校でいうと、子どももしっかり意識してわかっている部分では、芦中の3大運動というのがありまして、これは、あいさつ、歌声、清掃の3つなんですよね。あいさつについては、これこれ、こういうことがあるが、その短い

言葉で生徒にも十分浸透しながらやっていますので。例えば、そういうようなことを関係する子どもたちや保護者や地域や教職員に公募して、そこからこの準備委員会で選考して、新しい中学校の目指す生徒像を10個決めるとか。例えば、そういうことでも十分意識を高めるような動きができるかなと思っていた。どうしても学校名を変えたり、あるいは校章のデザインを決めるとなると、時間と費用もけっこう掛かるものですから。それよりもソフト面を充実していった方がいいのかなと思っています。夕張なんかは、平仮名でゆうばりという名前を学校名に使ったりしていますけれども。学校名を変えるとなると、それにかかわる表示を全部変えなければならなくなる。それよりも、もっと子どもに還元できることがあるのかなと思いますが、いかがでしょうか。

○ 柴泉委員 学校名は今のままでいいというのは賛成なんですけど、後々、小中一貫になったときに、そのときにどうするのかということを考えてやらないと。今の時期に、この時期、この期間であれをする、これをするといっても時間がないんですよ。だから、もう、それだったら、小中一貫を目指していくということも、今の段階で決めていかないと。1年、2年でやりますと言っても、絶対無理があると思う。

○ 河戸会長 校舎も含めて、施設の部分でいうと、やはり小中一貫というのを見通す中で、大きく変えるのであれば、その方がいいのではないだろうかということですね。ここではきっと要望でまとめることぐらいしかできないですが。小中一貫教育推進委員会というのが随分前から発足して活動していますので、そこをベースに準備することもできるのかなと思います。

それでは、学校名については、「芦別中学校」ということで、芦別市内唯一の中学校となるということも含めて「芦別中学校」ということで意見を取りまとめたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○ 各委員 (了承)

② 校章・校歌について

○ 河戸会長 それでは続きまして、校章・校歌について協議を行いたいと思います。事務局から説明をお願いします。

○ 学務課長 お配りした資料の2ページをご覧ください。こちらに市及び市教委の考え方としまして、芦別中学校の校章、校歌を引き続き使用したいという考え方をお示しさせていただいております。今回、委員の皆さんからいただいた意見を記載しておりますので、ご協議いただければと思います。

○ 河戸会長 皆さんの意見をご覧ください、だいたいのところでは、芦別中学校の校章、校歌を使ってということだと思うが、いかがでしょうか。

○ 石川委員 先ほどの校名についてもそうだが、現段階でというか、将来的な芦別の学校がどういう形になっていくのかという、今の段階で明確にはされていないと思うんですが、どこかの段階で義務教育学校若しくは小中一貫校というのが想定されるのかなと。もし、そうならなかったとしても、校章や校歌については、いったん新しいのにするのではなく、今、芦別中学校が使っているものをそのまま利用する形で、今後動きがあれば、つまり、義務教育学校若しくは一貫校になったときに改めて考えるのがいいのかなと思います。

ちなみに、昭和55年に啓成中学校ができたときには、地域住民の方、在校生、子ども達を対象に、校章についてはアンケートを取って、それぞれがデザインしたものの中から選んでいる。第1期生がいるとすれば、自分と同年になるので、相当昔の話かなとは思いますが、そういう形で決めていたので、今後決めるときには、そういうやり方もできるのかなとは思いますが。

○ 河戸会長 事務局の方に伺いたいですが、これを先に進める上で、今後見通しとして小中一貫若しくは義務教育学校というようなことも視野に上げているのか。

○ 学務課長 昨年12月に、小中学校の校長先生、PTA会長、市内の2つの高校の校長、さらに次の世代ということを見据えて幼稚園、保育園、子育てサークルの代表、みどり幼稚園の親の会の会長・副会長にも入っていただいて、今後の小中学校のあり方検討協議会という会議を立ち上げておりました。その後、年明け以降、コロナの影響により、なかなか会議を開催するような状況にはなりませんでした。引き続き、新しいメンバーに変えて、仕切り直しのような形で会議を開催したい

ということで、今準備をしているところです。

その中で、小中一貫校、義務教育学校ですとか、今後の芦別の小中学校のあり方、どんな形がいいのか、それに合わせて学校の校舎、どういう施設がいいのか、これらを検討していただく会議を今後再開させていきたいと考えております。教育委員会として、今、こうします、こう考えていますという確固たるものはありませんが、市民の皆さんの意見をいただいた中で、それを参考として方向性を決めていきたいという動きになっています。

- 河戸会長 今、事務局から説明がありましたけれども、今後の学校のあり方についても十分協議しながら進めていただけるような状況かなと思いますので、その上で、今回準備する期間もとっても短いので、そういう部分も含めて、いろいろ検討しても、これ以上の意見が出るのはなかなか難しいかなと思いますが、どうでしょうか。
- 各委員 (特に意見なし。)
- 河戸会長 では、意見もないようですので、校章・校歌については、現芦別中学校のものを使用するというところでよろしいでしょうか。
- 各委員 (了承)
- ③ 制服・体操服・カバン、上靴等について
 - 河戸会長 では、続いて(3)の制服・体操服・カバン、上靴について進めていきたいと思います。事務局から説明をお願いします。
 - 学務課長 資料3ページ、4ページに委員の皆さんからいただいた意見を記載しております。市及び市教委の考え方といたしましては、芦別中学校の制服を使用していきたいということで示しています。ジャージ、カバン、上靴につきましても、芦別中学校のものを使用したいということで示しているところです。なお、啓成中学校に通学する際に一度制服、ジャージ等を購入している保護者の方がいることになりますので、それらの方については、制服等を新たに購入する費用について助成するという示しているところです。これらを含め、意見をいただいているので、ご覧いただき、ご協議いただくようお願いいたします。
 - 河戸会長 (3)については、いろいろとご意見もございますので、これに補足するような意見があればお願いしたいと思います。ちなみに、ちょうど

先週、芦別中学校のジャージと学生服を扱っているメーカーの方が来られてお話ししたんですけども、同じデザインでも素材が違うものですか、今はすごく進化しているそうです。そのようなこともあるので、いろいろ制服、ジャージを変えるタイミングとしては、10年おきぐらいに検討したりもするので、統合を機に変更するというのはチャンスかなと思います。

- 柴泉委員 僕も制服に関しては、それに賛成です。今変えるタイミングと言ったら何ですけど、やっぱり統合ということでやるんだったら、新しい気持ちでということで制服を変えてやった方がいいと思うんですよ。やっぱり、今、いろいろとジェンダーレス制服とか選べる。女子はスカートをはかなきゃだめだとか、そういう感じじゃなくて、ズボンでもいいし、スカートでもいいという、そういう動きに持っていてもいいと思っている。やっぱり、いろいろ女の子でも男の子でもいいという、そういうのも問題になってきているので、変わればいいのかと思います。
- 河戸会長 議会でも一般質問でジェンダーレスの制服についてございましたよね。
- 学務課長 昨年9月議会だったと思いますけど、制服のいわゆるLGBTで、校則で女子はスカートしかだめというような校則の縛りがあるのではないかというような質問がありまして、芦別中学校も啓成中学校もそのときに確認した内容では、生徒の希望に応じてズボンでも可能な対応になっているということはありませんでした。そういうことが、より要求される形にはなってくるのかなと考えています。
- 河戸会長 ほかに何かご意見があれば。中村さん、どうですか。
- 中村副会長 やはり、保護者からの要望も一番多い項目だと思うんです。うちの娘は高校生なんですけど、ブレザーで、スカートでもズボンでもいいという学校で、実際、女の子でもズボンをはいて登校しているのを同級生とかでいるのも見ているので、やはり今後の時代を考えると制服もスラックスでも本人たちが選択できる制服を選んでいけたらいいのかなと思う。

また、教育委員会の案では、啓成中学校に入学したときの制服を統

合したときに芦別中学校にそろえるのに助成をしていただけるという案が出ているが、委員の中にも意見を書いている方がいるが、統合したときの2年生、3年生はそのまま、入学する1年生からそろえるという形でもいいんじゃないかなと思うんですけど。やはり、制服が混在するというのは問題があるのでしょうか。

- 河戸会長 私、統合の学校も何校か経験しているんですけども、新入学生から新しいもので、それまでは混在させてという形が一般的であった。
- 柴泉委員 僕も工業のとき、総技になってからは総技の下の子たちがブレザーになって、僕たちが最後の学生服で卒業という形になっていた。そのときに商業もいっしょに合併したので、商業も最後の制服のままで工業の方に来てました。
- 河戸会長 これについては問題ないと思う。
- 中村副会長 例えば統合してからの2、3年生で新しい制服が、例えばかわいいとか、かっこいいから買い替えたいという人がいれば、それは買い替えるのはご本人たちのご家庭の都合で自由にしても、全員が全員そろえるというのも…。今までの芦中の制服にするか、新しい制服にするかだと思うんですけど、その方が市の費用面で少なくていいのではないかと思う。
- 嶋委員 今、皆さんの意見を見ていると、だいたい新しいのがいいという大方の意見かなと思う。
- 中村副会長 芦中の制服って、かなり長く変わっていない。
- 嶋委員 私の時代から着ていました。30年前くらいから。
- 柴泉委員 僕が卒業するときは学生服で、2こ下くらいからブレザーになったから。
- 嶋委員 もう30年以上です。
- 中村副会長 あまり、今ふうのブレザーではない。
- 柴泉委員 であれば、この機会に、変な話ではないですけど、僕たちには吸収という感じで捉えている人もいます。そういうのではなくて、統合だよということで制服を変えて、統合になったんだねとすれば。芦中のブレザーのままだと、人数が少ないから吸収になったんでないかという人たちの意見があるのだから、こういう機会に変えてみてはどうか

などということでもらった。

- 河戸会長 特に、生徒が登下校する際に地域の方に多く見守られることになるので、制服やジャージが変わったというのは統合した部分では大きな変化になる。ただ、現実的には、新2、3年生については今までのものを使用して、あとはご家庭の判断で新しいものにするかどうかという選択でいいのかなと思う。
- 柴泉委員 そうなると、今は啓成が登下校のときにジャージが大丈夫ということになっている。そういうのも自由ということになるんでしょうか。学生服は学生服でないとだめということも考えなくてはだめだと思うんですけど。
- 河戸会長 服装については、学校部会の方で、生徒指導の面とのすり合わせをしっかりとさせていただいて、その辺もしっかりと線引きしてもらえればいいのかと思うんですけど。特に新しいジャージ、制服を発注する部分においては、もうメーカーと打ち合わせをしていかないと間に合わなくなってくるので。
そのほか、カバンについては、芦中はもう指定カバンというのはいない。
- 柴泉委員 ないんですね。
- 河戸会長 自由なんですよね。
- 中村副会長 ここに書いてあるので、カバンも指定なのかと思いました。
- 柴泉委員 昔のやつじゃないですか。
- 河戸会長 もう、それぞれ自分の好きなものを選んでいきます。
- 石川委員 自分も決まっているのかと思いました。
- 河戸会長 カバンは違う。上靴は指定ですけど。例えば上靴ですと、靴底によっては、黒いものだと床に黒い跡が残って、掃除のときにたいへん。それで上靴の指定するところは多い。芦中も指定してはいて、学校によっては、学年別に同じ指定靴でもデザインの色がちょっと違ったり。
- 柴泉委員 啓成は。
- 石川委員 啓成は指定はなし。
- 中村副会長 赤と青を自由に選べる。

- 石川委員 推奨靴があるだけで、指定ではない。指定といわれたら、底の色だけです。
- 柴泉委員 芦中は、底の色は白ということですか。
- 河戸会長 靴は指定なので、全学年同じですね。靴底が先に言いましたように、跡が付かないようなものですね。啓成はカバンについては、どうなのか。
- 石川委員 カバンも指定はしていない。全員のカバンをチェックしてきましたけど、いわゆるデイパックかな。背中に背負うタイプのものがほとんど。9割近くがそのタイプのカバンですね。
- 柴泉委員 では、カバンは逆に問題はないですね。
- 河戸会長 上靴ですね。
- 柴泉委員 上靴は指定で、芦中のものをそのまま使うのがいいと思う。
- 石川委員 あとは金額。指定すると安いのを探せない。
- 中村副会長 結局、啓成は推奨靴ですけど、白めの運動靴で底のゴムが白でというのは探すのがなかなか難しい。本当に安い、1,000円くらいの白だと…。今、ゴム底の、全体的に白地となると逆に高くついたりして、指定靴の方が安かったりする。そう考えると、指定靴か、若しくは啓成のように推奨靴で、ただし書を付けるということがいいのかなと。
- 石川委員 芦中の靴はいくらくらいですか。
- 河戸会長 ちょっと即答はできないですけども。中学校の場合、体育の授業もありますので、運動に適した靴と絞っていくとそうそう自由に安く選べるというわけではなくなってくる。かえって、そうになると指定靴の方が安いかなと。エアジョーダンとかがはやったときに、そういう高価なものを買ってくる子がいたり、それを画びょうを刺していたずらしたりして遊ぶ子がいたり、そういう時代もあった。先生方がたぶん、いろんな経験と知恵で上靴は指定の方がいいというところに収まっているところが多いのかなと思っている。この辺の細かなところは、学校部会に一任して案を出してもらって、ここで検討することでもいいんじゃないかなと思うんですけど、どうですかね。

では、制服とジャージについては新しく変更するということで、上靴については指定を目途にしながら、どちらかに合わせるか、あるいは

はこれも新しいものにするかを含めて、学校部会に案を出してもらう
ということでどうでしょうか。

- 柴泉委員 いいと思います。
- 片山委員 決定までにどれくらい時間がかかるのか。
- 河戸会長 これから学校部会を通して担当を確認して、打合せを行って、メーカーと打合せをしてとなると、2月間は見ないと難しいのではないかと。
- 片山委員 メーカーは1社か。
- 河戸会長 必ずしもそうではない。
- 片山委員 入札とかもするんですか。
- 河戸会長 通常は、入札をするべきだとは思いますが、入札するほどかわる業者がないときもある。撤退するところもあったりするので。
- 石川委員 道内の制服は、ほとんど1社である。この間も制服の業者が来ていったが、この話も含めてしたときに、制服についてはほぼ1社でやっているの、競合してもいいんだけど、結局、だいたいは1つにしか絞りようがない感じみたいである。
- 片山委員 デザインとかも、何パターンか示してもらえるのか。
- 石川委員 それは提示してもらえる。だから、早く動かなきゃならない。制服については、夏休み期間を使って次年度のものを用意するとのことなので、それでいうと、今年度中に新制服を決めて来年度の夏休みに生産するような流れになる。夏休み明けてから業者と詰めていって、何パターンか提出してもらって、それぞれの学校で、若しくは保護者も入れるということになるのであれば、学校祭の時期には展示をしたいくらいなんだけど。さすがに、それは間に合わないだろうから、参観日等を利用しながら見てもらって、あとは市内の公共施設に展示してもらって、保護者が見られるような状態にするか。学校だけじゃなくて。
- 片山委員 時間が間に合えば、令和6年というのが決まっているので、制服、上靴、ジャージ、新しいデザインにするのに賛成だが、例えば事務局の方で日程的なことですか、ざっくりとあるのかなと思っているんですけど。いつまでに決めなきゃいけないというのが。
- 石川委員 業者は、ちょっと焦っています。

- 片山委員 あまりにも時間がなさすぎるのかなと思って。間に合うのかなと、心配である。一番はそこです。新しくしたいのはしたいんですけど、間に合うのかなと。
- 石川委員 今年度中にデザインが決まれば、間に合いますね。遅くとも、来年の5月までと言っていました。
- 河戸委員 メーカーも夏には旭川で展示会をやると言っていたので。私も深川で統合した際に、ジャージを新しくしたんですけど、見本を持ってきていただいて、参観日とかに置いて見て、ご意見を聴いて決めたというのがありますので。
- 石川委員 ジャージは、色、材質、デザインがある。
- 中村副会長 啓成も何年か前にジャージを変えたときには、学校に展示してあって、子どもも保護者も好きな色を投票して、一番投票数の多かった色に決まったという経過がある。であれば、参観日のときでもいいし、保護者が見に来れる期間を何日間か取っていただいて、投票とかできればと思う。
- 柴泉委員 小学校の保護者の人たちは。
- 石川委員 ほぼ小学校の保護者の人たちになる。
- 柴泉委員 小学校の保護者の人たちに意見を聴けばいいということか。
- 石川委員 中学校は1年生だけ。該当は1年生だけとなる。
- 片山委員 どこからどこまでを対象とするのかも難しいですね。
- 柴泉委員 今の中学1年生じゃなく、6年、5年を対象とするのか。
- 河戸会長 あまり幅を広げても、あれなので。令和6年度で中学生と考えると、小5から中1までですね。
- 石川委員 でも、実際に着るのは5年生以下。下の学年はイメージがしにくいかもしれない。
- 柴泉委員 できるだけ早くやらないと間に合わない。みんな、芦中のものを引継ぎ、引継ぎで考えているから。寸法あると思って考えているけど。自分のを着せてあげないと、子ども達がね…。
- 石川委員 制服が新しくなるとすれば、動くのは学校になるのか。新しい制服やジャージになるとしたら、ここ（準備委員会）が主体となって動くのか。それとも、学校が主体で動くのか。

- 学務課長 学校の方が動きやすいんじゃないかと思います。
- 河戸会長 基本的には、やはり準備委員会の学校部会で具体的に進めた方がいいと思う。
- 石川委員 では、変えるということが決まった時点で、学校で動くということか。
- 河戸会長 準備委員会の学校部会の方に、部会長と事務局に話をして間に合うように進めてもらう。その中で、十分に子どもたちと保護者の意見を汲んでくださいよということにしておけば、今出たご意見に沿って動くと思いますので。

では、まとめたいと思いますが、制服、ジャージについては、変更して新しいものにするということ。上靴も含めて、詳しい中身については、学校部会に進めてもらうということ。進捗状況については、当然報告してもらって、準備委員会で周知してもらって、まずいなと思ったら、意見を出して変えてもらうですとか、というところでしょうか。よろしいですか。

- 各委員 (了承)
- ④ 校訓・学校教育目標等について

- 河戸会長 それでは、協議事項最後の(4)の校訓・学校教育目標等について、事務局から説明をお願いします。
- 学務課長 資料5ページのとおりです。市及び市教委の考え方としては、こちらについても芦別中学校の校訓等を引き続き使用したいと。なお、啓成中学校の校訓につきましては、啓成中学校の校訓「探究」「友愛」「実践」をはじめ、これまで培ってきた伝統、取組については、統合後の中学校の実際の教育活動の中に取り込んで生かしていきたいという考え方を示しています。なお、資料の最後に1枚もので中学校の概要という資料をお配りしています。これは、毎年、教育委員会の方で芦別の教育という、学校教育だけではなく、社会教育ですとか、文化、体育、施設などを含めた概要版の資料を出しておりますが、その中に掲載しているもので、昨年度、令和3年度のもので。令和4年度は制作中ですので。この中に、芦別中学校、啓成中学校のそれぞれの教育目標ですとか、校訓という部分がありましたので、こちらをいっしょにご

覧いただいて確認をしていただければと思います。今までの協議事項と同様に委員の皆さんからご意見をいただいておりますので、その内容もご確認いただきながら、ご協議をお願いします。

- 河戸会長 皆さんから、ご意見ありますでしょうか。小中一貫の観点から、三浦委員、いかがですか。
- 三浦委員 新しく統合になるので、目指す子ども像について検討する必要があるのかなと思いました。それと、今は、地域とねらいとかを共有しながら、地域と学校が一体となって進めていくということが求められるので、見直すいい機会なのかなと個人的に思います。
- 河戸会長 教育目標や目指す子ども像が小中でずれるというのはおかしなことになるので、見直すのであれば、やはり小中一貫の視点はとっても大事かなと思う。どの学校もいっしょというわけではないですけども、知・徳・体という三つのことについては、だいたいの学校が目指していくことで、表現がちょっと違いますけれど、わりと似たようなことですよね。

私も、さっき話しておいて何なんですけども、例えば芦中のあいさつ、歌声、清掃ですね。この三つのことですね。啓成でいえば、探究、友愛、実践ですね。こういうようなキーワードをそれぞれさっき言ったような目指す10の生徒像みたくしながら、そこに融合させていくというのも一つの手なんですけれども、やはり、小中一貫という視点では、もうちょっとしっかり協議して検討した方がいいのかなと思っています。慌ててやっても、あまりいいことはないのかなと思っています。

- 柴泉委員 これが一番時間をかけなきゃいけないところなのかなと思いますね。
- 河戸会長 ひいては、芦別市としてどんな子どもを育てたいかという、それに小学校の段階、中学校の段階ではどうですかということで、やはり、芦別市の教育行政にかかわって、大きな子どもの育成のビジョンも必要なのではないかなと思うんですが。そういうことを考えると、ここはあんまり手を付けないで既存のものを活用するのがいいのかなと思うんですけども。
- 三浦委員 最終的に同じものになるということはあるかもしれないですけど、

一回見直すという意味で申し上げました。

- 河戸会長 これを機会に見直すということでしょうかね。
- 三浦委員 はい。
- 柴泉委員 この期間で見直すという、考えてやる日にちはないと思う。今の段階では。校訓となると子どもたちの将来のことを考えて作っているところもあると思うので、それをちょっと今すぐ決めると言われても難しいのかなと。
- 河戸会長 ここで検討するにしても、原案があって、それに対していろいろな説明がないと、なかなか判断できないですね。
- 柴泉委員 小中一貫になることを考えて作るんだったら、もうずっと続くわけですから。
- 河戸会長 先ほどもちょっとお話がありましたけれども、数年後に義務教育学校あるいは小中一貫校みたいな大きく変わる部分を予想しながら、今大きく変更するよりも、既存のものを使用することが望ましいというような、そういう意見が書いてありますけれど、この方向性でよろしいでしょうか。あと、細かい詰めによっては、啓成中学校の校歌ですとか、教育目標を展示しているようなものを移設して、そういうコーナーを作るといったのもいいのかなと思うんですけど。統合によって、そういうふうになっている学校もございますし。
- 柴泉委員 校歌に校訓の内容が入っていないかな。
- 石川委員 校歌の中には入っていないです。
- 河戸会長 校訓って、本当にその学校文化を作る部分で大事にしている学校もありますけれども、校訓や校歌や教育目標がばらばらになっている学校の方が多いですね。わりに、子どもや保護者に浸透していないことが多いですよ。
- 柴泉委員 では、逆に校歌は芦中のものにして、校訓を啓中のものにするというのもできるのか。
- 河戸会長 確かに、そういうこともできると考えておりますが、あんまりお金の部分を言いたくないんですけども、けっこう芦中に入るときに校門に校訓があったり、大きい石に書いてあったりということを見ると、例えば撤去したり、新しく付け替えるとけっこう莫大な費用がか

かるんですよ。

- 柴泉委員 それであれば、新しい学校をつくったときにという方がよいのか。
- 石川委員 いったん芦中のやつでということ。ただし、目指す生徒像ということで必ず検討しますよ。それが中学校だけで検討するのか、小学校に入った段階で、小中で芦別の子どもたちという形で目指す子ども像をつくっていくか。
- 柴泉委員 今、お金をかけるなら、違うところにお金をかけた方がよい。
- 石川委員 きっと、上小と啓成で目指す児童生徒像というのが統一したものを用意しているんだけど、同じように芦小、芦中でも目指す生徒像というのはあると思うので、それらを今度統合するような形で、芦別の目指す児童生徒像というのが、これから必要になるのかなと。
- 河戸会長 そうすると、これを機会に目指す生徒像について、子どもから保護者、地域、教職員に広く公募して、出てきたものをここで吟味して、これでいきましょうということにした方がいいのかなと。小中学校の校長先生方もいらっしゃるので、小中一貫も意識しながら作れるかと思うんですよ。それについて、できたものをカラーで作って、それを配布したり、掲示したりにお金をかけても、そこまでの額にはならないと思う。それぐらい、事務局どうですか。対応できますよね。
- 学務課長 可能だとは思いますが。
- 河戸会長 もしよければ、そういう形で募集する文書を校長会で相談して作ってみますので、それを次の準備委員会で皆さんに見ていただいて、検討してはどうかなと思いたしますが。そんなことでよろしいですか。
それでは、校歌、校章については芦中のものを使って、啓成についてはどこかに展示スペースを作って、そこで保管も含めて啓成中学校の歴史を飾る部分を作るですとか。
わりと校章のデザインも似ている。芦別のAを、啓成も入っていますよね。
- 石川委員 うちも入っていますが、啓成は3つの地区の意味で入っている。
- 河戸会長 それでは、協議事項4点について、一応終わったということでもよろしいでしょうか。
- 各委員 (了承)

(5) その他

① 第3回会議日程について

- 河戸会長 それでは、第3回会議の日程について、事務局からお願いします。
- 学務課長 第3回会議につきましては、各部会の検討状況も確認させていただきながら、8月下旬ころに開催したいと考えています。具体的には、8月24日ころから9月2日くらいまでの間で、また改めて日程調整をさせていただきますので、お願いしたいと思います。第3回の準備委員会においては、先ほど協議していただいた内容の進捗状況も含めまして、後期から実施する予定の児童生徒の交流に関してまして、学校部会からの報告とその内容に関する確認をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。また、それまでの間に、新たに協議する事項がございましたら、その協議の方も行ってまいりたいと考えております。
- 河戸会長 加えて、先ほどもお話ししましたけれども、市内4校の校長会をとおして目指す生徒像について公募する文書を作成してまいりたいと思いますので、ご協議の方をお願いします。

② その他

- 河戸会長 その他で委員の皆さんからございますか。
- 片山委員 さっきのジャージと制服の件だったんですけど、新しいものにするということなんですけど、今の5年生が入学したとき、中学校1年生のときは全員同じ、統一ということですよ。2年生、3年生、今の6年生と中学校1年生については。
- 河戸会長 現行のままですね。ただ、新しいものにしても、それはかまわないと。
- 片山委員 じゃあ、芦別中学校の今の制服を着ている生徒と啓成のを着ている子と新しい制服を着ている子と、3種類となるということですか。
- 河戸会長 学校運営上、混在していても、他校もそういうふうに行っているところがほとんどなので混乱はしないかなと思います。
- 片山委員 わかりました。
- 河戸会長 あとは、啓成中のお子さんが肩身の狭い思いをしないように、ちょっと人事面の配慮で十分生徒のことをわかっている職員が芦中の方に

異動するような配慮をしてあげればいいのかと思いますけど。

よろしいでしょうか。

- 各委員 （「よい」との発言あり。）
- 河戸会長 それでは、本日は、これですべて協議の方は終了したいと思います。
皆さん、お疲れ様でした。

（終 了）